



教育行政執行方針

詳細 教育部総務企画課 ☎(32)6739

苫小牧市教育委員会は、「苫小牧市教育大綱」の基本理念に掲げる、未来の社会をつくるひとづくりを目指し、「教育行政執行方針」のもと各種施策に取り組みまいります。



苫小牧市長 原 功

方針 1 社会で生きる学びの推進

1 確かな学力の育成

全ての教員が共通取組事項である「焦点化・イメージ化・視覚化」を意識し、授業改善に努めます。

また、子どもたちの望ましい生活習慣、読書習慣、学習習慣の定着に向けた取組を家庭・地域と連携し推進します。

2 これからの時代に求められる資質・能力の育成

子どもたちが効果的にICT機器を活用するために、教員のICT活用指導力が持続的に向上される体制づくりに努めます。

また、小学校段階から外国語指導助手(ALT)と継続した英語教育を進めるとともに、国際理解教育を推進します。

3 多様な価値を尊重する豊かな心の育成

教育活動全体を通して、道徳性を養う教育を推進します。

また、全ての子どもたちが、「はじめは絶対に許さない」という意識を持ち、いじめの未然防止に向けた主体的な取組の充実を図ります。

4 体力向上・健康教育の充実

ICTを効果的に活用した授業を展開し、運動習慣の定着を図ります。

また、スマートフォン、ゲーム機器等の視聴時間を抑えるなど、生活習慣の改善に向けた取組を進めます。

5 特別支援教育の充実

地域で切れ目のない支援を受けられるよう、関係機関との連携を強化するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた「連続性のある多様な学びの場」を提供します。

また、全ての教員が一人一人の子どもの実態に応じた指導法などを研修し、専門性の更なる向上に努めます。

方針 2 学校・家庭・地域の思いをつむぐ体制の確立

6 学校段階間の連携・接続の推進

苫小牧型小中連携教育(Tomakoni All-in-one)を推進し、学校段階間の接続を意識した教育課程の編成・実施や指導方法の工夫・改善を図ります。

また、学びの連続性を重視し、幼稚園、認定こども園、保育所及び高等学校等と連携・協働します。

7 不登校児童生徒への支援の充実

安心感と充実感が得られる魅力ある学校づくりを推進してまいります。

また、教育支援センター「山なみ学級」を開設するほか、「不登校児童生徒の支援に関する指針」に基づき、フリースクール等民間施設との連携やICT機器を活用した支援など、社会的自立を目指すための取組を進めます。

8 学校と地域の連携・協働の推進

保護者や地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」を全小中学校及び義務教育学校に導入し、学校と地域が一体となった特色ある取組を推進します。

また、各学校でのゼロカーボンシティを目指す取組を促進するほか、部活動の段階的な地域移行に向けた協議を継続します。

9 学びのセーフティネットの構築

スクールカウンセラー等の派遣を通して、学校と福祉、介護、医療等の関係機関の連携強化を図ります。

また、ヤングケアラーなど悩みを抱える児童生徒の早期発見・早期対応ができる体制を構築できるよう、教職員への研修の充実に努めます。

10 教育環境・学校施設・設備の充実

樽前小学校の改築事業や沼ノ端小学校の大規模改修事業、ウトナイ小学校の増築事業などにより、子どもたちの学習環境の向上に努めます。

学校規模適正化の取組につきましては、義務教育学校として4月に開校する植苗小中学校の実践を参考にしながら、勇払地区などで、学校規模や地域の実情に合わせた望ましい教育環境を地域とともに考えます。

また、通信環境の充実や教職員の校務用パソコンの更新で業務の効率化を図るなど、学校における働き方改革を促進します。

方針 3 すべての人が学び続け活躍できる社会の実現

11 主体的に生涯学習を続け、郷土の発展を支えるひとづくり

全ての市民が意欲と目的を持って学び続けるとともに、個々のニーズやライフステージに応じた学習機会の充実のため、「セカンドブック事業」や「ナナカマド教室」、「障がい者学習支援事業」などの取組を継続します。

12 いつでも、誰でも学べる環境づくり

幅広いニーズに対応した学びの場を提供するとともに、大学などの高等教育機関と連携した講座や講演により、質の高い学びを継続できるよう取り組みます。

中央図書館については、障がい者用図書や電子図書など、蔵書の充実を図るほか、指定管理者と協力し、より利用しやすく居心地の良い図書館を目指します。

科学センターについては、宇宙ステーション「ミール」をはじめとした科学展示や天文普及、科学体験事業など、科学に対する興味関心を育てます。

また、生涯にわたり科学を学べる施設として機能充実に努めるとともに、移転改築に向けた検討を進めます。

13 文化・芸術がいつも身近にあるまちづくり

苫小牧出身の脚本家、水谷龍二氏の芝居公演、八王子市姉妹都市締結50周年記念事業「八王子車人形」公演などの鑑賞型事業等により、文化芸術を通して交流する機会の充実に努めます。

美術博物館では、出光興産北海道製油所操業50周年、美術博物館開館10周年記念事業として、「出光美術館名品選」を開催します。